

牧師 山本護 司式 青柳均 奏楽 山本恵美

前 奏	黙想	祈 禱	
讃美歌	59 かみのめぐみ	讃美歌	95 わが心は あまつ神を
祈 禱		献 金	
信仰告白	使徒信条 566	讃 詠	547 いまささぐるそなえものを
聖 書	詩編 130:7~8	黙 禱	
	マタイによる福音書 1:18~21	主の祈り	564
讃美歌	500 みたまなるきよきかみ	頌 栄	539 あめつちこぞりて
説 教	『ヨセフの傍らにマリアもいる』	祝 禱	後 奏

クリスマスが近づき、マタイ福音書とルカ福音書を響き合わせながら読んでいます。この時期、いつもそうなのだが、「クリスマスとは何なのか」という問いを、両福音書に尋ねている。ヨハネ福音書のように、「言」「闇」「光」といった象徴言葉でのクリスマス表現にも意味があろう。とはいえ、人間の奇跡でもあるので、地上の母マリアと父ヨセフに集中した「闇と光(ヨハネ 1:5)」として注目しよう。

降誕予告に際して、ルカに父ヨセフが登場しないように、マタイでは母マリアの姿が見当たらない。記されていないからといって、マリアはそこにいないのだろうか。いや居るはずだ。マリアは田舎の、庶民の、頬の紅い素朴な、幼さ残る少女なので、人前で自分を証しするつもりもその機会もない。だから私たちは、想像力を存分に膨らませて、語られていないマリアの姿を、ヨセフの傍らに探したい。

「イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった(マタイ 1:18)」。さらりと記されているが、当事者にしてみれば衝撃的だ。マリアの驚きと困惑、ヨセフの怒りと落胆は容易に想像できよう。無口な職人氣質のヨセフだが、この時ばかりは「どういうことなんじゃっ」とマリアをなじったかもしれない。マリアは訳が分からず、弁明もできず、涙をためて、怒りを一身に受けている。

「夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した(1:19)」。律法に従って正しく対処すれば、マリアは石打ちで処刑される(申命 22:20~21)。ヨセフの正しさはいわば優しさで、愛の裏切りで自尊心を傷つけられたことはグッと堪え「ひそかに縁を切って」忘れようとした。朴訥で優しいヨセフ、だが人間の「正しさ」はせいぜいここまでだ。

ヨセフは唇噛んで「縁を切り黙っていればマリアは殺されない」と決意したものの、憤りで夜も眠れなかった。が、ふと眠りに落ちた。すると「主の天使が夢に現われて言った。〔ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産むその子をイエスと名づけなさい。この子は自分の民を罪から救うからである〕(マタイ 1:21~22)」。

自分なりの正しさでいく、とようやく決めたのに、天使はひっくり返すようなことを言う。ヨセフは最大限の正しさを反転させて、主の天使が命ずる「神の正しさ」に従おうと決意する。生まれる子の名は「イエス=ヨシュア(ヤハウエは救い)」。「自分の民を罪から救う」とはその名に掛けた意味でもあるが、「罪からの救い」はどう現われるのか。その予兆のように、正しさに含まれる罪から、ヨセフを救った。ヨセフの正しさは、私生児を生むマリアを針のムシロに迫いやることであり、救い主の命を危うくすることでもあった。天使はそこからヨセフを転換させ、極めて重要な使命を与えた。

「ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおりに、妻を迎え入れた(1:24)」。絶望で倒れ伏していたマリアは、ヨセフの微笑みを見上げてどうなっただろうか。マリアの顔の表情をよくよく思い描いてほしい。闇の中で救いの光を受けたがゆえに、マリアは、不可解な息子イエスを育つがままにしておいたし、あの十字架にさえ立ち会えた。救いは地上において、なんと痛ましく、輝かしいのか。

闇の中の光(ヨハネ 1:5) 観念的な救いではない 父と母がそうであったように 個別的な現実に灯る
マリアはヨセフに救われ ヨセフはマリアを介して救われた 神が共におられる地上で(マタイ 1:23)

本日は月イチの掃除の日、20分くらいで終わります。11/21(月)10:00~11:30 甲府での聖研(YMCA)。
11/23(水祝)1:30~3:30 分区信徒大会(山梨英和大学)。牧師の動き:11/25(金)刑務所で個別教誨。

礼拝堂・集会所の住所:408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ:408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。